

# 特集：2015北東アジア経済発展国際会議(NICE)イン新潟

## プログラム

開催日 2015年1月29日(木)～30日(金)

会場 朱鷺メッセ(新潟市中央区)4階 国際会議場(マリンホール)

主催 北東アジア経済発展国際会議実行委員会(新潟県、新潟市、ERINA)

後援 外務省、経済産業省、国土交通省、新潟大学、駐日モンゴル国大使館、駐日ロシア連邦大使館、一般社団法人東北経済連合会、一般社団法人新潟県商工会議所連合会、新潟経済同友会、日本海沿岸地帯振興連盟、公益財団法人にいがた産業創造機構、一般社団法人新潟青年会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、新潟日報社、毎日新聞新潟市局、朝日新聞社新潟総局、日本経済新聞社新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、共同通信社、時事通信社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO

参加者 のべ300名

### ■オープニングセッション

1月29日(木) 13:30～15:30

#### ○歓迎あいさつ

新潟県副知事  
新潟市長

森邦雄  
篠田昭

#### ○来賓あいさつ

外務省欧州局日露経済室長  
(代読：外務省欧州局日露経済室首席事務官(室長代理))  
経済産業省通商政策局ロシア・中央アジア・コーカサス室長

石川誠己  
松尾浩樹  
上野麻子

#### ○基調講演

「EUとロシアの対立とその北東アジアへの政治・経済的インパクト」  
日本大学国際関係学部講師(元在ウクライナ大使)  
「国際秩序の変化と北東アジア-中国の台頭を踏まえて」  
フィンランド国際問題研究所グローバル安全保障リサーチプログラム主任研究員

黒川祐次  
ユルキ・カッリオ

### ■セッションA：北東アジアにおけるウクライナ問題の諸様相

1月29日(木) 15:45～17:45

#### ○報告

東京財団研究員  
日本経済新聞社論説副委員長  
法政大学法学部教授  
日本大学国際関係学部講師(元在ウクライナ大使)

畔蒜泰助  
池田元博  
下斗米伸夫  
黒川祐次

#### ○モデレーター

ERINA副所長

杉本侃

### ■セッションB：TPPの到達点と今後の展望

1月30日(金) 10:00～12:00

#### ○報告

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授  
内閣官房TPP政府対策本部内閣参事官  
キヤノングローバル戦略研究所研究主幹  
AEI研究所特別研究員  
中国社会科学院APEC・東アジア協力研究センター副主任・秘書長

浦田秀次郎  
矢田真司  
山下一仁  
クロード・バーフィールド  
沈銘輝

#### ○モデレーター

ERINA調査研究部主任研究員

中島朋義

■セッションC：ヨーロッパとアジアを結ぶ輸送ルートの新展開

1月30日（金）13：30～15：30

○報告

国際臨海開発研究センター研究主幹・国際港湾政策研究所政策研究室長  
 明治大学商学部専任講師  
 駐日ロシア連邦大使館参事官／ロシア連邦税関庁駐日代表

柴崎隆一  
 町田一兵  
 アレクセイ・スホルコフ

○モデレーター

ERINA調査研究部主任研究員

新井洋史

■クロージングリマーク

1月30日（金）15：30～15：45

北東アジア経済発展国際会議実行委員、ERINA代表理事

西村可明

本特集は、「2015北東アジア経済発展国際会議イン新潟」の内容を当日の録音及び資料をもとにまとめたもので、文責はERINAにある。関係各国名は中華人民共和国を中国、朝鮮民主主義人民共和国を北朝鮮、モンゴル国をモンゴル、大韓民国を韓国、ロシア連邦をロシアとそれぞれ表記した。また、各人の発言における「日本海／東海」(Japan Sea / East Sea)、「東シナ海／東海」(East China Sea / East Sea)、「南シナ海／南海」(South China Sea / South Sea)の呼称やその他固有名詞に関しては録音をもとに表記した。